

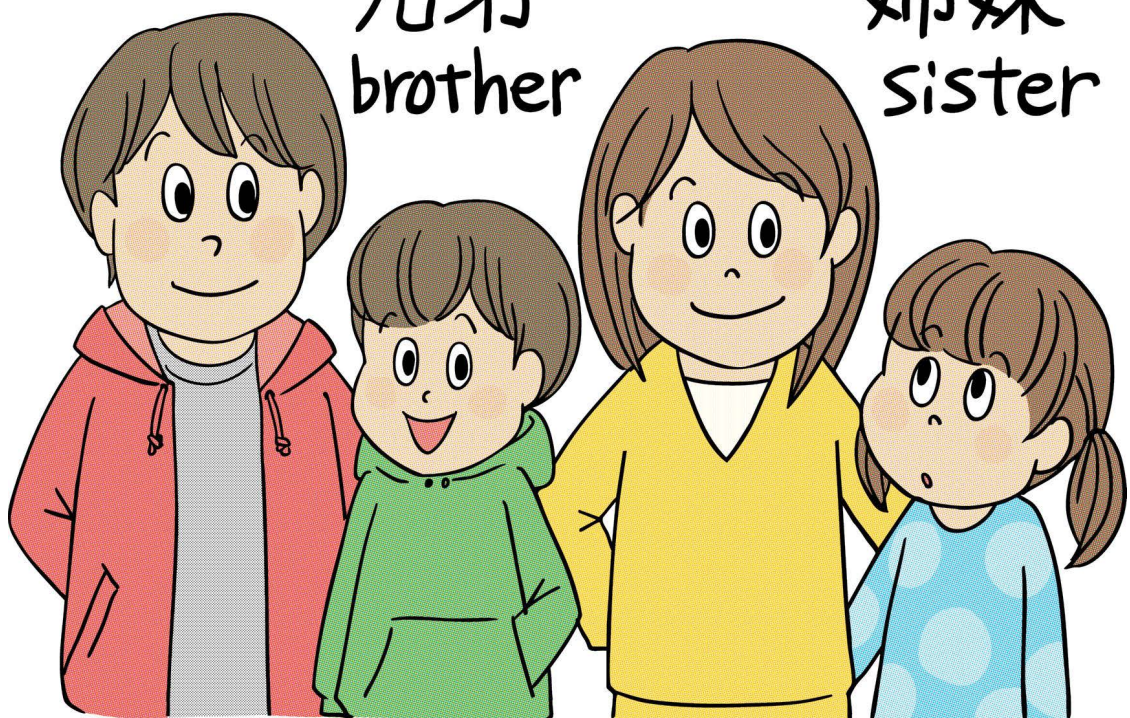


1978年、東京
都生まれ。早稲
田大学第一文学
部卒業、同大学
院文学研究科
東洋哲学専攻博士後期課程単位取
得退学。博士（文学）。専門は儒
学、日本思想史。水球で関東大
会上位を目指す水泳部の顧問、
自身も部のOB。共著に「新潮
ことばの扉 教科書で出会った
古文・漢文一〇〇」（新潮社）。

言葉は思考の枠組み

兄弟
brother

姉妹
sister



イラスト・上田英津子

第1週 渋谷教育学園幕張中・高校
吉田真大先生

公民

第3週 カリタス女子中・高等学校
稲川理子先生

英語

第4週 開成中学・高等学校
宮本一弘先生

化学

論語

原文
訓読

孝弟也者其爲仁之本與
孝弟なる者は、其れ仁の本たるか。

言葉で世界をとらえる

今回から「国語」のなかの「漢文」を担当します。よろしくお願ひします。
漢文は古代中国に生まれた言葉で、それが書き言葉として後の時代にも地域を越えて使われました。更には中国という枠組みも越えて、朝鮮半島や日本でも読まれ、書かれた言葉です。朝鮮や日本のように話し言葉が異なる世界でも共有された漢文は、漢字文化圏において時間と空間を超えた書き言葉といえます。その漢文について毎月お話ししていきますが、まずは第1問。

「姉」「妹」に区別

アニメーション映画「となりのトトロ」（宮崎駿監督、1988年公開）のなかで、幼い妹のメイちゃん（姉のサツキとはぐれて「おねえちゃんーん」と大声で呼ぶ場面があります。このせりふ、英語の吹き替え版では何と言っているのでしょうか？
「シスター（お姉ちゃん）！」。

そう思った人かもしれないませんが、正解は「サツキー！」です。名前？ 呼び捨て？ など意外に感じるでしょうか。そこで気づいてほ

しいのは、用いる言葉によって、世界のとらえ方が違うということですね。「姉」と「妹」、「兄」と「弟」という、生まれの先後に着目し、必ず区別をする言葉の世界に、自分たちは生きているのです。

少しでも人生経験が長ければ、そこで身につけた能力があり、それに応じた役割がある――。だからこそ、妹は姉を「お姉ちゃん」と慕い、親御さんは時に「お姉ちゃんなんだから」と自律を求めるかもしれません。こうした感情や教育は、それを口にした人の考え方にだけ由来するのではなく、兄弟、姉妹という言葉でとらえる世界、漢字文化圏に生きているからとも言えるのです。役割で区別しないbrother（兄弟）やsister（姉妹）ではなく、兄弟姉妹――。人は用いる言葉で世界をとらえ、考えます。言葉とは、人の思考の枠組みなのです。

社会の基本示す

冒頭に挙げた今回の「孝弟なる者は、其れ仁の本たるか」は、中国

の古典、漢文の文献である「論語」にあります。約2500年前の中国に生きた孔子と門人たちの言行録「論語」は、小学校でも触れる機会があるかもしれません。

「孝弟なる者は……」という読み方は、日本独自の漢文訓読という翻訳術が生み出したものですが、皆さんも知る「孝」という字は、実は特殊な漢字です。「孝行」とは、お父さん、お母さんに対する適切な行為のことを指す、対象を限定したものです。「おはあちゃん孝行」のような言い方をしたとしても、やはり目上の親族ですよ。特定の関係のあり方だけを指す文字が存在するという事実は、その関係に特別な価値を置いていることを示しています。

「弟（妹）」も兄に対するあり方を指し、今回の「孝弟なる者は、其れ仁の本たるか」は「まず家族の中で役割を果たすことが、人として生きていくことの基本なのだ」という意味なのですが、まず家族とすることが大切という感覚も、それを人の社会の基本とする言葉の世界に生きていることに由来するとも言えるのです。

* *

それでは第2問。「あなた、人として……」と始まるせりふがあったら、それはどう続きそうですか？ 続きは、また来月に。